

間接 1 について

総合コスト縮減率を構成する項目の一つである「間接 1」とは、「技術開発や生産・流通コストによる建設資材・建設機械の価格変動が建設工事費に与える効果」を算定したものであり、建設工事に使用する資材等の価格変動から平均的な物価等の変動分を差し引いたものとしている。

原油価格の高騰や国内外で鉄鋼等の需要増加などによる生産・流通コストの増加のため、平成16年度以降の「間接 1」は、コスト増に作用している。

1) 間接 1 の推移（対平成 14 年度）

	平成15年度	平成16年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
間接 1（平成 14 年度基準）	0.2%	-0.9%	-0.5%	-0.8%	-1.7%

2) 建設物価等の推移（対平成 14 年度）

		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
企業物価指数(国内)		△	0.6%		0.8%		2.9%		5.9%		8.3%
建設物価等の推移	建設資材		0.1%		5.5%		7.9%		13.2%		19.3%
	建設機械	△	3.6%	△	3.8%	△	5.2%	△	5.2%	△	5.3%
	労務単価	△	3.8%	△	6.5%	△	9.0%	△	10.2%	△	11.6%
	加重平均	△	1.4%	△	0.1%		0.0%		1.6%		3.4%
企業物価指数下落を除いた建設物価等の推移	建設資材		0.7%		4.7%		5.0%		7.3%		11.0%
	建設機械	△	3.0%	△	4.6%	△	8.1%	△	11.1%	△	13.6%
	加重平均	△	0.2%		0.9%		0.5%		0.8%		1.7%

注) 最下段の数値が、「間接 1」の実績（コスト縮減対策の対象となっていない労務単価の低減及び物価変動要因（企業物価指数の変動）を除いて推測したもの）